

令和 2 年度

事 業 報 告

自 令和 2 年 4 月 1 日

至 令和 3 年 3 月 3 1 日

公益財団法人 堺市公園協会

目 次

事業報告書

I	法人の概況	(3)
II	事業の状況	(6)
1.	事業の実施状況	(6)
1 - 1	堺市都市緑化基金事業	(7)
1 - 2	緑化普及啓発事業	(8)
1 - 3	公園愛護会活動支援事業	(10)
1 - 4	花と緑の市民協働事業	(11)
1 - 5	都市緑化センター指定管理事業	(12)
1 - 6	駐車場運営等事業	(14)
	駐車場概要	(16)
	駐車場利用状況	(18)
1 - 7	普及啓発事業一覧	(19)
1 - 8	50周年記念事業	(20)
2.	重要な契約に関する事項	(21)
3.	役員会に関する事項	(22)
4.	経営指標等の推移	(24)
III	決算期後に生じた法人の状況に関する重要な事実	(25)

事業報告書

I 法人の概況

1. 設立年月日

昭和45年9月4日

平成25年7月1日 公益財団法人移行

2. 定款に定める目的

協会は、堺市の都市公園の円滑な運営及び健全な利用の促進を図るとともに、市民の公園緑地に対する愛護精神の普及啓発並びに緑化の推進に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

- (1) 市民の緑化意識の高揚と緑化活動支援事業
- (2) 都市公園・緑地等の保全と多様な利活用の促進事業
- (3) その他協会の目的を達成するために必要な事業

4. 所轄官庁に関する事項

大阪府 都市整備部 公園課

5. 主たる事務所所在地

主たる事務所所在地	大阪府堺市堺区東上野芝町1丁4番地3 花と緑の交流館2階
連絡担当者	総務グループ長 増田 剛雄
電話番号	072-245-0070

6. 出捐者等の状況

(単位 千円)

出捐者	出捐金額	比率
堺市	1,000	100%
合計額	1,000	100%

7. 役員等に関する事項

評議員名簿

令和3年3月31日現在

役職	氏名	常勤・非常勤の別	担当職務・現職
評議員	加我宏之	非常勤	大阪府立大学大学院教授
評議員	長村智司	非常勤	一般社団法人フラワースサイエティ会長
評議員	隈元英輔	非常勤	公益社団法人堺観光コンベンション協会 会長
評議員	久保直樹	非常勤	堺商工会議所常務理事
評議員	小松信夫	非常勤	堺市農業協同組合代表理事専務

役員名簿

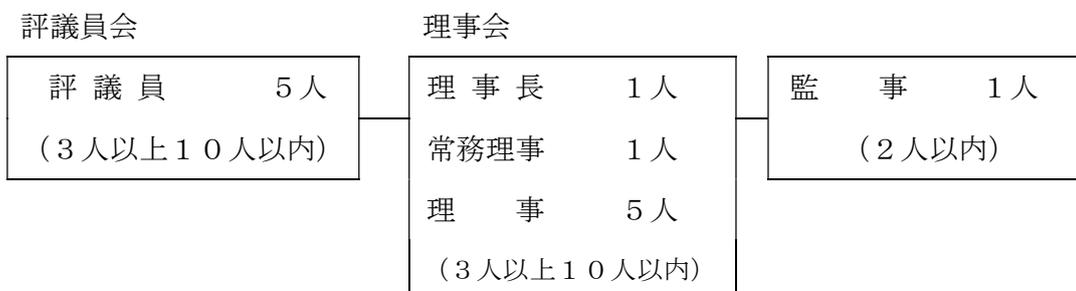
令和3年3月31日現在

役職	氏名	常勤・非常勤の別	担当職務・現職
理事	中村甫	非常勤	株式会社ジェイコムウエスト 地域プロデューサー
理事	大町啓之	非常勤	堺市公園愛護会会長
理事	森口巖	非常勤	堺市自治連合会顧問
理事	内藤雅之	非常勤	南海電気鉄道株式会社 グループ統括室広告宣伝部長
理事	上田萌子	非常勤	大阪府立大学大学院助教
理事長	西野彰記	常勤	
常務理事	山上英信	常勤	事務統括
監事	蒲生武志	非常勤	公認会計士

(注)役員等に対する報酬総額は10,498千円です。

8. 職員等に関する事項（令和3年3月31日現在）

（1）組織図



事務局

事務局長（常務理事兼務）	（1人）	
総務グループ	6人	常勤 3人 非常勤 3人
業務総括担当	1人	常勤 1人
愛護会グループ	10人	常勤 4人 非常勤 6人
緑化推進グループ	8人	常勤 3人 非常勤 5人
都市緑化センターグループ	3人	常勤 2人 非常勤 1人

（2）職員の状況

区分	職員数	前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
常 勤	13人	0人	51歳0ヶ月	20年11ヶ月
非常勤	15人	0人	47歳2ヶ月	2年11ヶ月
合計又は平均	28人	0人	48歳11ヶ月	11年3ヶ月

（注1）職員に対する人件費（給料手当）の総額は112,455千円です。

（注2）上記のほか、臨時雇用職員は10人です。

II 事業の状況

1. 事業の実施状況

堺市においては、現状分析及び今後の予想として人口減少・高齢化が進展し、社会経済情勢が大きく変動していく中で、地方自治体の行財政運営が厳しい状況となっており、その中でも生産年齢人口の減少や超高齢社会の進展による社会保障関係費の増加が予想されるなど、今後益々厳しい財政状況が懸念される。

このような状況下で、堺市からの受託事業が殆どを占める公益目的事業においても、毎年予算が減少傾向にある。また、収益事業においても同様に減少傾向にある。

しかし、こうした厳しい状況の中で、仁徳天皇陵古墳周辺の整備が進み、新たな賑わいを形成しつつある。

当協会では、これらを鑑みて公園利用者の利便性を高め、かつ駐車場運営の合理化を進める。加えて公園内の自動販売機に防犯カメラの設置を着手し、より安全安心な公園利用を高めていく。今後も収益事業経営の見直しの実施に向け、新たな付加価値を見出し堺市と協議・調整を進めていく。

当協会が実施する公益目的事業では、公園愛護活動者をはじめとする、市民ボランティアとの協働事業を行うなど、市民力を醸成し、市民とともに公園の維持管理を行い、緑化の普及を行うことが主な事業内容であることから、市民ボランティアの高齢化により、会員が減少していく中で、これまで通り継続した活動ができるよう、資機材支援等の充実を図り、従来の活動内容が維持できる取り組みの仕掛けづくりを進めてきた。

しかし、新型コロナウイルスによる感染症の拡大防止のため、共同作業等の活動やイベントは開催若しくは規模縮小となった。

今後も引続き、堺市に活動支援策の提案を行うとともに、次世代を担う子ども達が花・緑に関心をもつようなイベントの開催などを行い、市民の身近に緑を増やす活動として緑化普及啓発事業の拡充に努めることとする。これらをふまえて堺市の都市公園の円滑な運営及び健全な利用の促進を図るために、以下の事業に取り組んだ。

1. 堺市都市緑化基金事業
2. 緑化普及啓発事業
3. 公園愛護会活動支援事業
4. 花と緑の市民協働事業
5. 都市緑化センター指定管理事業
6. 公益事業を展開するための収益事業

事業の実施状況は次のとおりである。

1-1 【堺市都市緑化基金事業】

(総事業支出額 5,932 千円)

1. 堺市都市緑化基金事業

(1) 地域緑化活動支援 (事業支出額 3,096 千円)

① みどり活動支援

地域の緑化活動者が自ら計画し実践する活動に対して、67校区に園芸資材、肥料、用土等の資材支援を行った。また、地域のシンボルとなる場所等に花飾りを行い、花と緑のあふれる街となる一助のため実践団体に対して自主活動へと発展するサポートを行った。

・申請校区：67校区

・支援内容：園芸資材・種子(秋・春)、灌水ホース、樹木(低木類)、球根等
用土・・・赤玉土、腐葉土、培養土、花の土等
肥料・・・化成肥料、害虫殺菌用薬剤等

② 記念樹配付等

民有地の緑化を推進すること及び緑化への意識向上につなげる目的で、市民の出生、結婚、入学、銀婚、金婚等の人生の節目を祝う記念樹として苗木(185件)を秋・春に配付した。

・記念の種類：新築、出生、還暦、入学(小学校)、結婚、成人等

・記念樹の種類：フェイジョア、オリーブ、ライラック等

(2) 活動促進 (事業支出額 2,332 千円)

① 花のボランティア活動促進

花のボランティア(花いっぱいさかい)が種から育てた草花で地域の花飾りを行う緑化活動の支援をすることで、花と緑の美しい堺になるように、園芸資材の支援及び運営サポート等を行った。

会員数：460人

育苗数：61,059株(秋蒔き)

圃場：4箇所(大仙圃場、とみおか圃場、荒山圃場、金岡圃場)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、年2回(春・秋)の播種から年1回(秋のみ)へ変更

(3) 普及啓発 (事業支出額 495 千円)

① 普及啓発機関紙「緑の瓦版」の発行

堺市都市緑化基金と緑の保全基金のしくみや市域で実践されている緑化推進活動等を啓発するための普及啓発冊子「緑の瓦版」を年2回、計10,000部を発行し、市内関係施設へ配付した。

1-2 【緑化普及啓発事業】

(総事業支出額10,802千円)

1. 緑化普及啓発事業

(1) 普及啓発 (事業支出額1,775千円)

① 活動支援

・ 学校緑化

学校を拠点として、地域住民、保護者、学校が一つとなって取り組む緑化活動に対して、種子などの資材及び技術支援を行った。(3小学校)

対象学校：福泉東小学校、三原台小学校、大仙小学校

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4校活動予定が3校へ変更

・ オープンガーデンさかい

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となったが各地区の代表者と令和3年度の実施に向けて会議を開催した。

・ 出前相談

市民の緑化意識を高め、地域における花と緑のまちづくりを推進するため、堺市関連のイベントや各区役所に緑化相談窓口を開設し「出前相談」を行った。

※緊急事態宣言発出及び新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月から6月は閉設。7月から12月及び3月は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行い開設(1月及び2月は閑散期のため閉設)。

・ 出前講習

自治会や緑化に関するボランティア団体などに対し、園芸知識、関心度の向上を行っていくために講師派遣を実施した。

(16回)

・ 園芸連続講座

園芸知識の向上を目的に「園芸連続講座(入門編、応用編)」を実施した。

(各6回) 入門編：10名 応用編：20名

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、10回から6回へ変更

② 古樹保全啓発

・ 堺魅力探訪ウォーク

古樹名木や堺の史跡、古墳など歴史遺産などを訪ね歩き、環境保全への意識向上を図るため、市民スタッフと一緒に計画し実施した。

一回目 令和2年11月22日(日) 東区方面 14人

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2回予定から1回へ変更

③ イベント

市内では観る機会が少なくなった「ホタル」を都市緑化センターで飼育し、観賞会を堺仁徳ライオンズクラブ、大仙校区自治連合会、堺市都市緑化センター友の会、大阪府立堺支援学校と共同で開催予定だったが新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

④ 交流

- ・ 花と緑のまちづくりに取り組む市民の情報交換や幅広い交流と連携を図る「花と緑のまちづくり交流会」を年4回開催した。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、年12回の実施を年4回へ変更

⑤ 各種後援、協賛

- ・ 第55回堺さつき展（後援）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

- ・ 第68回堺市菊花大会（協賛）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

- ・ 市主催の各区民まつりのイベント参画

各区役所が主催とする区民まつりへ参画し、緑化相談コーナー及び多肉植物や草花を用いた見本花壇を作成し、緑化普及啓発に努める予定だったが堺市内全7区新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

(2) 花と緑の交流館運営（事業支出額3,934千円）

当協会が実施する事業の写真展示、市民等の情報交換の場の提供等により緑化の普及啓発に努めた。

(3) 普及啓発 堺市公園協会設立50周年記念事業（事業支出額1,257千円）

① 花と緑がいっぱいコンクール

② 記念イベント

詳細はⅢ設立50周年記念事業参照

1-3 【公園愛護会活動支援事業】 (総事業支出額146,608千円)

1. 公園愛護会活動支援事業 (事業支出額58,271千円)

堺市公園愛護会規約については、公園愛護会の制度を令和3年度より個人委嘱から団体登録(現在の個人活動者も継続)へ一部変更するための登録手続きを行った。また、堺市公園愛護会の事務局として、公園愛護精神の普及啓発に努めるとともに公園愛護活動の充実を図るため、活動支援として公園愛護活動に必要な資材・機材の貸出しなどを行い、愛護会が主体となって自主的に活動が行えるよう支援し、清潔で安全な利用環境を保持できるように努めた。

泉北ニュータウン地区においては、自由広場使用の受付、抽選業務を行った。

- ・ 堺市公園愛護会研修会 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- ・ 堺市公園愛護委員役員会(2回)
 - 1回目 令和2年 11月30日(月) 於:堺市都市緑化センター多目的室
 - 2回目 令和3年 1月18日(月) 於:堺市都市緑化センター多目的室
- ・ 校区交流会(2回)
- ・ 愛護会イベント
 - 活動取材ほか利用促進イベント3回
- ・ 清掃等協力金(1,132件、計 41,204,900円)
- ・ 清掃資材支援(延べ176公園)
- ・ 用具庫設置(12公園)
- ・ 用具庫修繕(26件)
- ・ 泉北地区内自由広場抽選応募総数(6,935通)
- ・ みどり通信臨時号及びみどり通信(各2,500部)
- ・ 共同作業(13件)
- ・ 愛護委員変更手続き(218件)
- ・ 苦情・要望等の対応(229件)

1-4 【花と緑の市民協働事業】 (総事業支出額102,313千円)

1. 緑化推進事業

(1) 市民組織支援 (事業支出額376千円)

市民協働による緑のまちづくりを推進するため、大仙公園内平成の森づくりを「堺千年の森クラブ」と協働し、郷土種の樹木を育てたり、次世代の子どもたちに継承する環境学習として、緑の大切さなどを啓発しながら「平成の森」づくりを行った。

(2) 市民花壇等管理 (事業支出額36,955千円)

阪堺電気軌道と大道筋に挟まれたグリーンベルトにおいて、車窓や歩道等から訪れる人々へ、花と緑による「おもてなし」風景を作り出した。また、日常的に利用する市内の主要駅前等のフラワーベースやハンギングバスケット等の植替えを市民、企業や各種団体(5団体)、学校等との連携・協働により実施し、花と緑のあふれる街づくりに努めた。

・ 令和2年度実施箇所

大小路筋・堺東駅・堺駅・上野芝駅・湊駅・鳳駅・深井駅・榎・美木多駅・光明池駅・堺警察署前

(3) 緑化祭運営 (事業支出額 0円)

都市緑化月間における緑化推進及び普及啓発・緑の保全に関する催しとして、市民やボランティア団体の協力を得て開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

(4) 花の名所イベント (事業支出額5,560千円)

市内外に広く親しまれる花の名所づくりを展開するため、「浅香山緑道のつつじ」「白鷺公園のハナショウブ」「荒山公園の梅」の開花時期に合わせて啓発イベントを開催し、緑の普及啓発及び花の名所のPRを行う予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

なお、浅香山については地元対策のため警備員を配置した。荒山公園については駐車場有料化に伴い警備員配置と仮設トイレの設置及び園内清掃を実施した。

1-5 【都市緑化センター指定管理事業】

(総事業支出額64,354千円)

1. 都市緑化センター指定管理事業 (事業支出額63,901千円)

都市緑化センターを訪れる市民へ憩いの場と、花と緑に関する知識・情報を提供するとともに、市民主体の花と緑のまちづくり活動を推進し、潤いと安らぎのある住みよい生活環境を実現するため、都市緑化センターの管理運営を南海ビルサービス株式会社との2者による指定管理者グループ“堺市公園協会・南海ビルサービス共同体”として行った。

都市緑化センター利用状況

年度	入場者数	緑の相談件数	講習会		展示会	
			回数	人数	回数	人数
30年度	171,263	3,565	140	2,377	51	29,101
元年度	162,297	3,188	122	2,014	42	65,671
2年度	83,947	2,632	43	400	17	11,138
対前年度比	52%	83%	35%	20%	40%	17%

2. 普及啓発（自主事業） (事業支出額453千円)

① 講習

- ・ゆとりある花と緑のライフスタイルの提案として花や緑を使った癒しの空間演出方法を学ぶ「生活に役立つガーデンライフ教室」を開催した。(2コース各4回のうち新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため3回開催)
- ・夏休みの期間、都市緑化センター内で自然に触れることの楽しさを学ぶ体験学習会を開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

② イベント

- ・花と緑のまちづくり活動の拠点施設である堺市都市緑化センター及び花と緑の交流館において、緑を育む人との輪を広げる交流の場を提供するため、四季を通じて学習・体験・交流のできる「グリーンメッセ堺の四季物語」を開催した。(4回の予定のところ、緊急事態宣言により春が中止となり3回開催)

③ 体験学習

- ・都市緑化センターの庭園を活用し、子ども達が五感を花と緑を通して感じることのできる「キッズフラワークラブ」を開催する予定だったが、新型コロナウイルス感

染拡大防止のため中止となった。

④ その他

- ・市民サービスとして、売店（グリーンショップ）の運営、花苗販売、ふれあい朝市
コイの餌の販売、自販機（４台）を設置し、販売を行った。

1-6 【駐車場運営等事業】

(総事業収入額103,389千円)

1. 駐車場運営等事業

(1) 駐車場 (事業収入額81,717千円)

公園利用者の便益を図るため、駐車場(3公園、8箇所)の運営を行った。

また、荒山公園駐車場については、梅及び桜の花見による周辺道路での不法駐車
の防止、交通渋滞緩和のため、2月上旬から4月上旬まで管理を行った。

※自動精算機導入(3公園、5箇所)

(2) 飲食物販 (事業収入額17,641千円)

① 飲料自動販売機(30公園、85台)

公園利用者の便益を図るため自動販売機の設置運営を行った。

② トートバッグ等物品の販売

百舌鳥古市古墳群の世界文化遺産登録を記念し、トートバッグ、クリアホルダー
一等の販売を行った。

※販売先：大仙公園「もず庵」、近つ飛鳥博物館、堺市都市緑化センター

③ 杉風舎・売店

堺市の友好都市である奈良県東吉野村の物産展示や観光紹介等を行う「杉風舎」
の管理運営を行った。

飲食物販事業収入一覧表

(単位：円)

種別	内 訳	収入金額	備考
売上手数料	自販機等売上手数料	17,394,050	
売上収入	トートバッグ、クリアホルダー等	106,146	
使用料収入	杉風舎使用料収入	141,150	
合 計		17,641,346	
令和元年度		16,051,751	
平成30年度		13,516,362	

(3) 公共施設等の維持管理(工事請負事業) (事業収入額3,866千円)

各種団体より、緑地帯の維持管理業務等(剪定、除草)を請け負った。

- ・ 堺市関係(2件) 1,015,850円
- ・ その他(21件) 2,849,853円

(4) 貸し館 (事業収入額 9千円)

花と緑の交流館1階多目的ホールの貸し出しを行った。

(令和2年4月は改修工事のため貸出せず)

貸し館利用状況

利用施設	件数
多目的ホール	2
計	2
令和元年度	117
30年度	164

1-8 【設立50周年記念事業】

(総事業支出額4,993千円)

昭和45年9月に設立し、50周年を迎えるにあたり、記念事業として記念式典、記念誌の発行、記念植樹等を行った。

(1) 記念式典 (事業支出額 760千円)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため録画取りで記念式典を行い、HPに掲載した。

堺市公園協会に多大なる協力を長きにわたりいただいた5団体に対して感謝状を授与した。また、基調講演としてテーマ「花と緑でつながる堺」を行うことで、花と緑の重要性を啓発できた。

(2) 記念誌の発行 (事業支出額 2,090千円)

協会設立50年の歴史を知っていただくために記念誌を発刊した。

(3) 記念植樹 (事業支出額 25千円)

協会設立50年を記念して、大仙公園大芝生広場に「桜」3本植樹した。

(4) 普及啓発事業・記念事業の開催 (事業支出額 2,118千円)

① コンクール開催(顕彰)

市民目線で堺市内の魅力的な花や緑の景観を発掘し、より多くの市民に紹介することを目的とし、花と緑のまちを新たに広げていくことを目指すため、花と緑がいっぱいコンクールを開催した。

なお、花と緑の交流館1階多目的ホールにて一般投票用展示と受賞者決定後の展示及び本庁にて展示を行った。

・応募数：180件(101名)

・入賞者 フォトグランプリ、準グランプリ、堺市長賞、堺市公園協会設立50周年記念賞(各1点)、各区花みどり賞(7点)、カレンダー賞(12点)

・カレンダー作製 500部

② 記念イベント

堺まつりに都市緑化キャンペーンとして参加を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止により堺まつりが中止となったため、堺市都市緑化センターを活用して、「菜の花ウィーク」に変更して都市緑化の啓発を行った。